

2001年のラスパイレス賃金指数（産業計）は対前年比0.1%減 99年以降3年連続のマイナス （2001年のラスパイレス賃金指数）

日本労働研究機構は1998年7月にラスパイレス賃金指数の開発を行ったが、この度、ラスパイレス賃金指数のベースになる「賃金構造基本統計調査」（平成13年）が発表されたので、これに基づく2001年のラスパイレス賃金指数を作成した。ここでその結果を報告する。

ラスパイレス賃金指数は、性、学歴、年齢、勤続年数の各属性について労働者構成を固定することによって労働者構成の相違に伴う影響を除去し、純粋に賃金のみの変化や格差を示すものである。ラスパイレス賃金指数には、時系列指数と格差指数の2種類があり、時系列指数は2000年の労働者構成に固定して作成している。時系列指数の上昇率はベースアップ率に相当する。また格差指数は毎年の産業計、規模計の労働者構成に固定して、産業別、規模別に作成した。

< ポ イ ン ト >

1 産業計時系列指数

- ・2001年の指数は、2000年を100とした指数で99.9と、1994年を下回る水準。
- ・前年比では、0.1%減と3年連続のマイナス。

2 産業別時系列指数

- ・製造業、サービス業ではともに0.2%増と3年振りにプラスに転じたが、これら2産業を除く各産業で前年比マイナス。

3 規模別時系列指数

- ・1,000人以上0.1%増、100～999人0.1%減、10～99人0.3%減となっている。

4 産業間格差指数

- ・産業間の賃金格差は、産業計を100.0として水準が高いのは金融・保険業の115.6、サービス業の103.9、低いのは製造業の95.2、運輸・通信業の96.2。

5 規模間格差指数

- ・産業計の1,000人以上を100.0として、100～999人は91.6、10～99人は88.5。
- ・規模間格差は拡大傾向。

(注)1) 固定する労働者構成の属性は参考表のとおりで、またラスパイレス賃金指数の賃金は所定内給与である。対象となる労働者は、パートタイム以外の一般労働者で、企業規模は10人以上である。なお、本報告で「通常の上昇率」、「通常格差」とあるのは、賃金構造基本統計調査の結果数値そのものの上昇率であり、格差である。

(参考表) 固定した労働者構成の属性

性	男			女		
学歴	中卒	高卒	高専・短大卒	大卒		
年齢階級	～17歳	18～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳
	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65歳以上
勤続年数	0年	1～2年	3～4年	5～9年	10～14年	
		15～19年	20～24年	25～29年	30年以上	

2) ラスパイレス賃金指数のもつ意味は次のとおり。

通常、賃金指数は、単純に賃金総額を労働者総数で除して得られる平均賃金を指数化して作成される。この平均賃金の上昇率は、労働者の賃金の变化を正確に反映していない場合がある。

例えば、人口の高齢化が進んで労働者の年齢構成が高くなると、年功序列的な賃金体系のもとでは定昇の効果から、賃金表の改定がなくても平均賃金は上昇する。

つまり、平均賃金にもとづく賃金指数は企業側からみた労働者1人当たりの労務コストを示しているが、労働者にとっての賃金の水準や上昇率を示していない場合がある。

また、労働者構成の異なる産業間、規模間で賃金を比較する場合でも、通常平均賃金では単に労務コストの大小を比較しているにすぎなく、厳密に労働者にとっての賃金の比較にはなっていない。

そこで労働者構成の変化や相違の影響を受けない賃金指数が求められるが、労働者構成で固定するラスパイレス賃金指数はまさにそうした目的で開発されたものである。

3) 指数は、運輸・通信業(民・公営計)を除き、民営事業所に関するものである。

4) 日本労働研究機構ホームページ(<http://www.jil.go.jp/statis/index.htm>)でもご覧になれます。

1 ラスパイレス賃金時系列指数

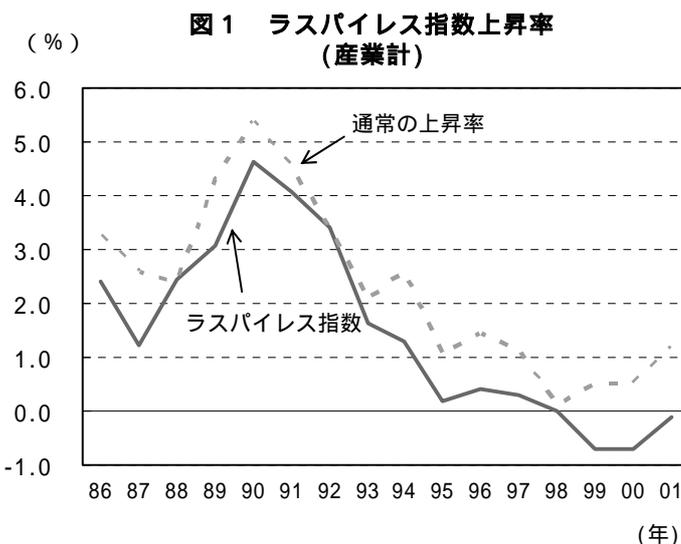
(1) 産業計

2001年(6月、以下同)のラスパイレス賃金指数(2000年=100)は産業計で99.9となり、1994年を下回る水準となった。また前年比は0.1%減で3年連続のマイナスとなった(表1、図1)。

一方、2001年の通常の上昇率は1.2%増で、ラスパイレスの上昇率より1.3ポイント高い。

表1 ラスパイレス賃金指数表
(産業計)(各年6月、2000年=100)

年	ラスパイレス指数		通常の上昇率
	ラスパイレス指数	上昇率	
1985	79.2	-	-
1986	81.1	2.4	(3.3)
1987	82.1	1.2	(2.6)
1988	84.1	2.4	(2.4)
1989	86.7	3.1	(4.3)
1990	90.7	4.6	(5.4)
1991	94.4	4.1	(4.5)
1992	97.6	3.4	(3.4)
1993	99.2	1.6	(2.1)
1994	100.5	1.3	(2.6)
1995	100.7	0.2	(1.0)
1996	101.1	0.4	(1.5)
1997	101.4	0.3	(1.1)
1998	101.4	0.0	(0.1)
1999	100.7	-0.7	(0.5)
2000	100.0	-0.7	(0.5)
2001	99.9	-0.1	(1.2)



(2) 産業別

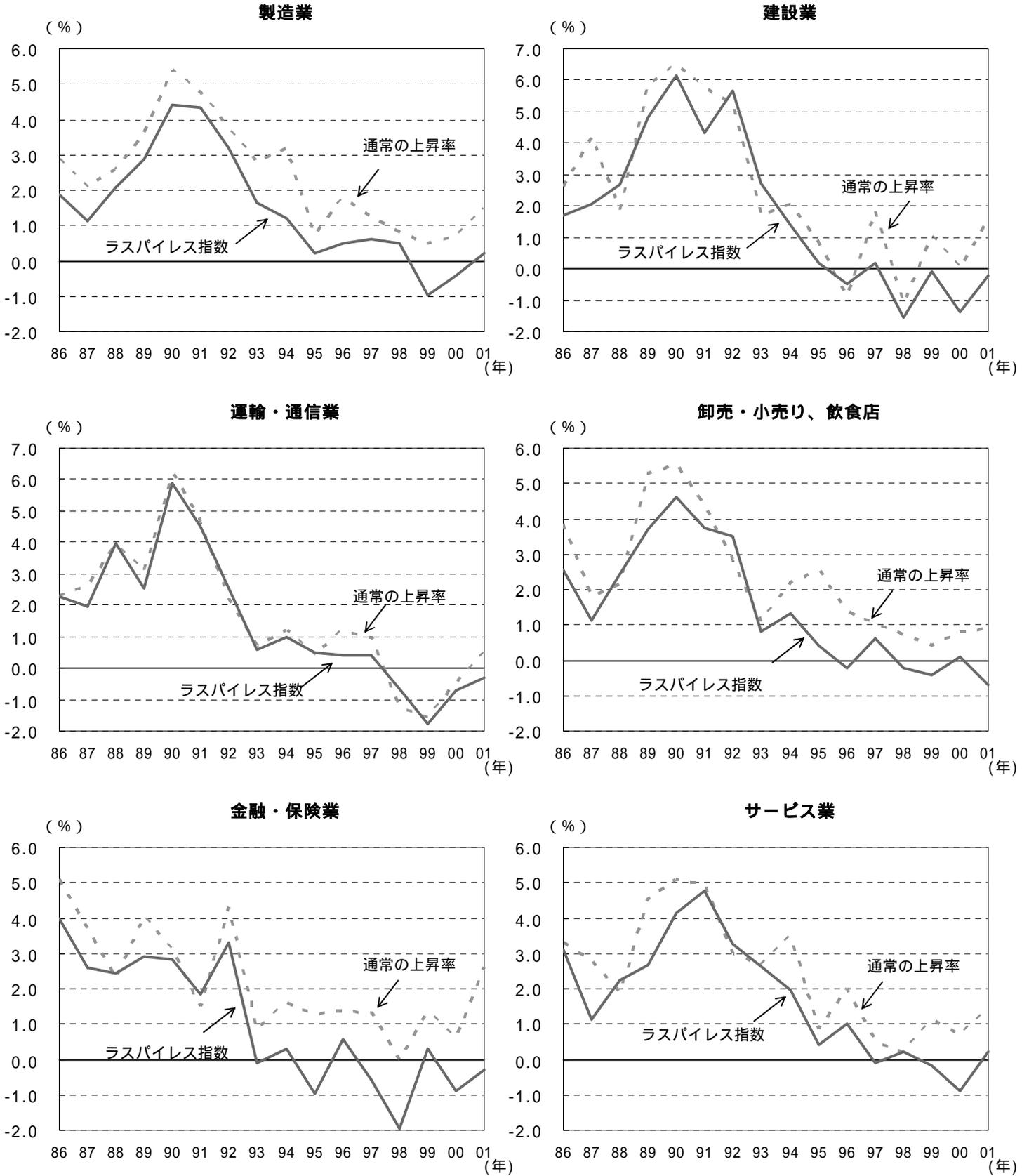
2001年のラスパイレス賃金指数を産業別にみると、製造業 100.2、サービス業 100.2、卸売・小売業、飲食店 99.3、運輸・通信業 99.7、金融・保険業 99.7、建設業 99.8となっており、製造業、サービス業を除く各産業で前年比マイナスとなった(表2、図2)。

表2 産業別ラスパイレス賃金指数表(各年6月)(2000年=100)

年	建設業			製造業			運輸・通信業		
	ラスパイレス指数	通常の上昇率	通常の上昇率	ラスパイレス指数	通常の上昇率	通常の上昇率	ラスパイレス指数	通常の上昇率	通常の上昇率
1985	75.8	-	-	79.6	-	-	79.5	-	-
1986	77.1	1.7	(2.6)	81.1	1.9	(2.9)	81.3	2.3	(2.3)
1987	78.7	2.1	(4.2)	82.0	1.1	(2.1)	82.9	2.0	(2.7)
1988	80.8	2.7	(1.9)	83.7	2.1	(2.6)	86.2	4.0	(3.9)
1989	84.7	4.8	(5.8)	86.1	2.9	(3.6)	88.4	2.6	(3.1)
1990	89.9	6.1	(6.5)	89.9	4.4	(5.4)	93.6	5.9	(6.2)
1991	93.8	4.3	(5.8)	93.8	4.3	(4.8)	97.8	4.5	(4.6)
1992	99.1	5.7	(5.2)	96.8	3.2	(3.7)	100.3	2.6	(2.2)
1993	101.8	2.7	(1.7)	98.4	1.7	(2.8)	100.9	0.6	(0.7)
1994	103.2	1.4	(2.1)	99.6	1.2	(3.2)	101.9	1.0	(1.2)
1995	103.4	0.2	(0.8)	99.8	0.2	(0.7)	102.4	0.5	(0.4)
1996	102.9	-0.5	(-0.9)	100.3	0.5	(1.8)	102.8	0.4	(1.2)
1997	103.1	0.2	(1.8)	100.9	0.6	(1.2)	103.2	0.4	(1.0)
1998	101.5	-1.6	(-1.1)	101.4	0.5	(0.8)	102.5	-0.7	(-1.3)
1999	101.4	-0.1	(1.0)	100.4	-1.0	(0.5)	100.7	-1.8	(-1.6)
2000	100.0	-1.4	(0.0)	100.0	-0.4	(0.7)	100.0	-0.7	(-0.5)
2001	99.8	-0.2	(1.6)	100.2	0.2	(1.5)	99.7	-0.3	(0.5)

年	卸売・小売業, 飲食店			金融・保険業			サービス業		
	ラスパイレ ス指数	通常の 上昇率		ラスパイレ ス指数	通常の 上昇率		ラスパイレ ス指数	通常の 上昇率	
		上 昇率	上 昇率		上 昇率	上 昇率			
1985	78.9	-	-	85.0	-	-	77.2	-	-
1986	80.9	2.5	(3.8)	88.4	4.0	(5.1)	79.6	3.1	(3.3)
1987	81.8	1.1	(1.8)	90.7	2.6	(3.7)	80.5	1.1	(2.8)
1988	83.8	2.4	(2.2)	92.9	2.4	(2.3)	82.3	2.2	(1.9)
1989	86.9	3.7	(5.3)	95.6	2.9	(4.1)	84.5	2.7	(4.5)
1990	90.9	4.6	(5.5)	98.3	2.8	(3.1)	88.0	4.1	(5.1)
1991	94.3	3.7	(4.4)	100.1	1.8	(1.5)	92.2	4.8	(5.0)
1992	97.6	3.5	(2.8)	103.4	3.3	(4.3)	95.2	3.3	(3.0)
1993	98.4	0.8	(1.1)	103.3	-0.1	(0.9)	97.7	2.6	(2.7)
1994	99.7	1.3	(2.2)	103.6	0.3	(1.6)	99.6	1.9	(3.5)
1995	100.1	0.4	(2.6)	102.6	-1.0	(1.3)	100.0	0.4	(0.8)
1996	99.9	-0.2	(1.4)	103.2	0.6	(1.4)	101.0	1.0	(2.0)
1997	100.5	0.6	(1.0)	102.6	-0.6	(1.3)	100.9	-0.1	(0.5)
1998	100.3	-0.2	(0.7)	100.6	-1.9	(0.0)	101.1	0.2	(0.2)
1999	99.9	-0.4	(0.4)	100.9	0.3	(1.3)	100.9	-0.2	(1.1)
2000	100.0	0.1	(0.8)	100.0	-0.9	(0.6)	100.0	-0.9	(0.7)
2001	99.3	-0.7	(0.9)	99.7	-0.3	(2.6)	100.2	0.2	(1.4)

図2 産業別ラスパイレース指数上昇率



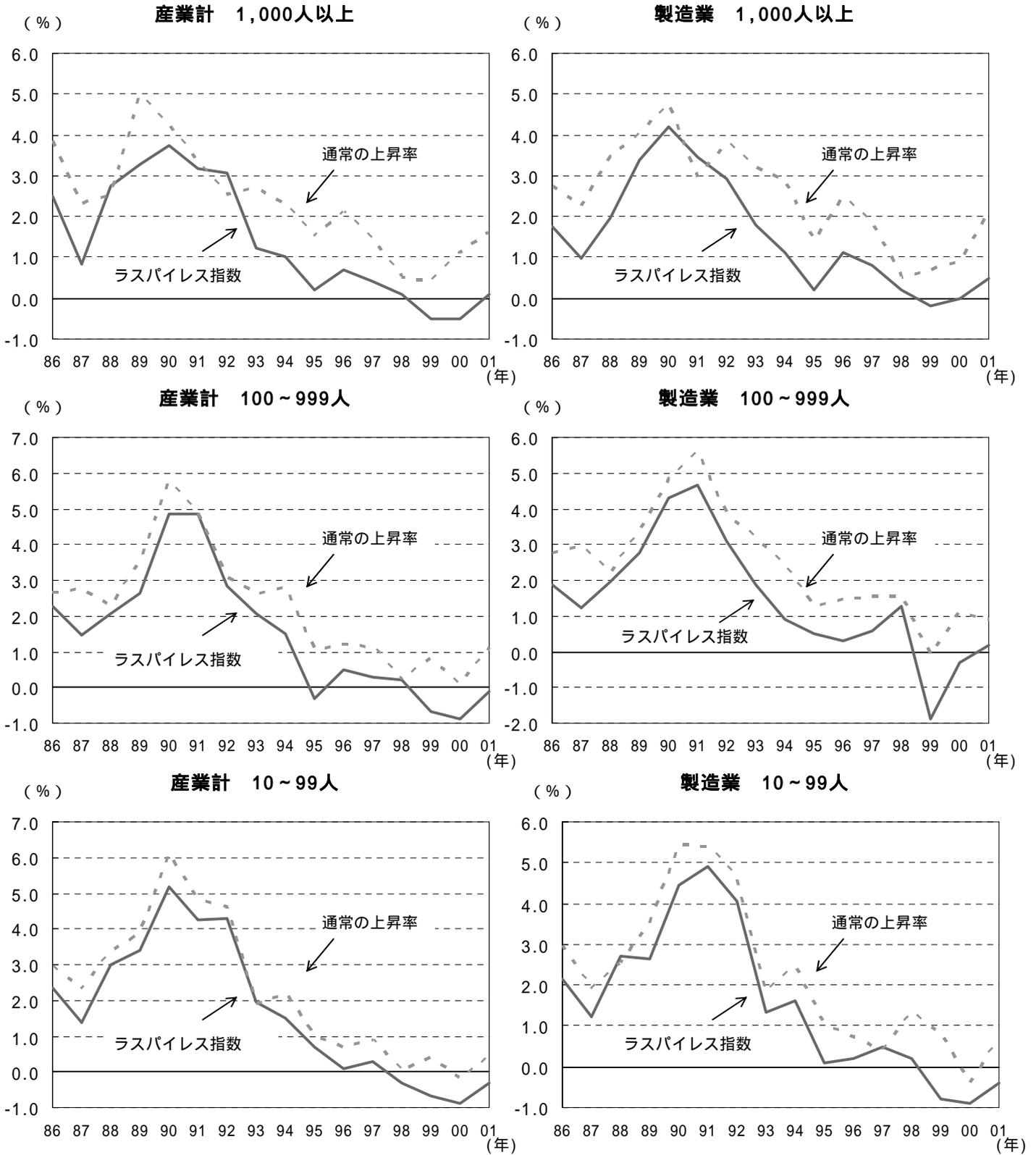
(3) 規模別

2001年のラスパイレス賃金指数を規模別にみると、前年比で、産業計の1,000人以上で0.1%増となったが、100～999人(0.1%減)、10～99人(0.3%減)では減少となった(表3、図3)

表3 企業規模別ラスパイレス賃金指数表(各年6月)(2000年=100)

年	1,000人以上			100～999人			10～99人		
	ラスパイレス指数	通常の上昇率	通常の上昇率	ラスパイレス指数	通常の上昇率	通常の上昇率	ラスパイレス指数	通常の上昇率	通常の上昇率
		上昇率	上昇率		上昇率	上昇率		上昇率	上昇率
産業計		%	%		%	%		%	%
1985	80.5	-	-	79.2	-	-	77.1	-	-
1986	82.5	2.5	(3.8)	81.0	2.3	(2.7)	78.9	2.3	(3.0)
1987	83.2	0.8	(2.3)	82.2	1.5	(2.7)	80.0	1.4	(2.3)
1988	85.5	2.8	(2.5)	83.9	2.1	(2.3)	82.4	3.0	(3.3)
1989	88.3	3.3	(5.0)	86.1	2.6	(3.5)	85.2	3.4	(3.9)
1990	91.6	3.7	(4.2)	90.3	4.9	(5.8)	89.6	5.2	(6.1)
1991	94.5	3.2	(3.3)	94.7	4.9	(4.9)	93.4	4.2	(4.8)
1992	97.4	3.1	(2.5)	97.4	2.9	(3.1)	97.4	4.3	(4.6)
1993	98.6	1.2	(2.7)	99.4	2.1	(2.6)	99.3	2.0	(1.9)
1994	99.6	1.0	(2.3)	100.9	1.5	(2.8)	100.8	1.5	(2.2)
1995	99.8	0.2	(1.5)	100.6	-0.3	(1.0)	101.5	0.7	(1.0)
1996	100.5	0.7	(2.1)	101.1	0.5	(1.2)	101.6	0.1	(0.7)
1997	100.9	0.4	(1.4)	101.4	0.3	(1.1)	101.9	0.3	(0.9)
1998	101.0	0.1	(0.5)	101.6	0.2	(0.2)	101.6	-0.3	(0.0)
1999	100.5	-0.5	(0.4)	100.9	-0.7	(0.8)	100.9	-0.7	(0.4)
2000	100.0	-0.5	(1.1)	100.0	-0.9	(0.1)	100.0	-0.9	(-0.2)
2001	100.1	0.1	(1.6)	99.9	-0.1	(1.1)	99.7	-0.3	(0.4)
製造業									
1985	79.1	-	-	79.6	-	-	78.7	-	-
1986	80.5	1.8	(2.8)	81.1	1.9	(2.8)	80.4	2.2	(2.9)
1987	81.3	1.0	(2.3)	82.1	1.2	(3.0)	81.4	1.2	(1.9)
1988	82.9	2.0	(3.5)	83.7	1.9	(2.2)	83.6	2.7	(2.5)
1989	85.7	3.4	(4.0)	86.0	2.7	(3.4)	85.8	2.6	(3.5)
1990	89.3	4.2	(4.8)	89.7	4.3	(4.8)	89.6	4.4	(5.4)
1991	92.4	3.5	(2.9)	93.9	4.7	(5.6)	94.0	4.9	(5.4)
1992	95.1	2.9	(3.8)	96.8	3.1	(3.9)	97.8	4.0	(4.7)
1993	96.8	1.8	(3.2)	98.6	1.9	(3.2)	99.1	1.3	(1.8)
1994	97.9	1.1	(2.9)	99.5	0.9	(2.4)	100.7	1.6	(2.4)
1995	98.1	0.2	(1.4)	100.0	0.5	(1.3)	100.8	0.1	(1.0)
1996	99.2	1.1	(2.5)	100.3	0.3	(1.5)	101.0	0.2	(0.7)
1997	100.0	0.8	(1.9)	100.9	0.6	(1.6)	101.5	0.5	(0.4)
1998	100.2	0.2	(0.5)	102.2	1.3	(1.5)	101.7	0.2	(1.3)
1999	100.0	-0.2	(0.7)	100.3	-1.9	(-0.1)	100.9	-0.8	(0.8)
2000	100.0	0.0	(0.9)	100.0	-0.3	(1.1)	100.0	-0.9	(-0.4)
2001	100.5	0.5	(2.1)	100.2	0.2	(0.9)	99.6	-0.4	(0.7)

図3 規模別ラスパイレース指数上昇率



2 ラスパイレス賃金格差指数

(1) 産業間格差

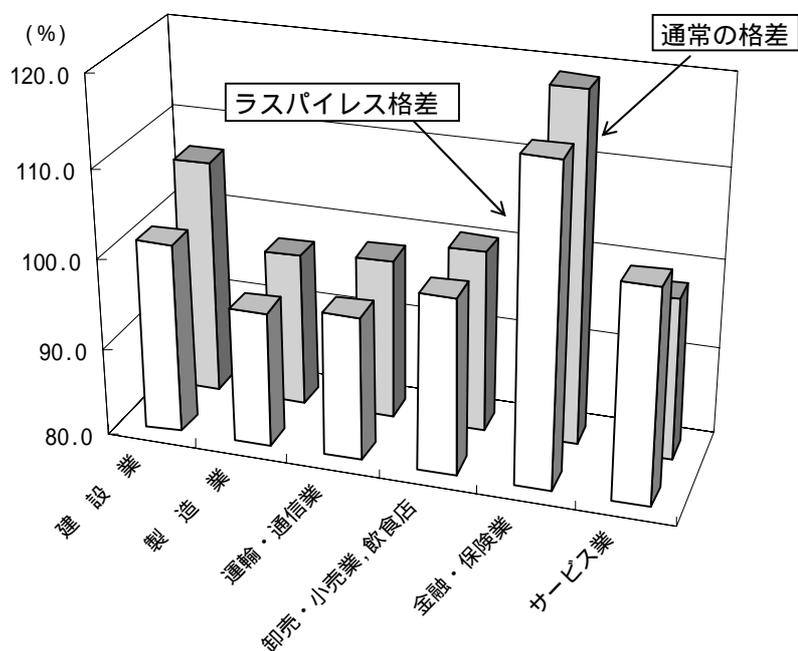
2001年の産業間のラスパイレス賃金格差指数は、産業計を100.0として、金融・保険業 115.6、サービス業 103.9、建設業 101.4、卸売・小売業、飲食店 99.8、運輸・通信業 96.2、製造業 95.2となっている(表4、図4)。

2000年と比較すると、水準の最も高い金融・保険業が0.9ポイント上昇し、水準の最も低い製造業は0.4ポイント上昇した。

表4 ラスパイレス賃金産業間格差指数表(各年6月)
(産業計=100)

産業	1990年	1995	1998	1999	2000	2001	
						通常	格差
産業計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	(100.0)
建設業	101.1	104.6	101.9	102.0	101.5	101.4	(106.6)
製造業	94.2	94.2	95.1	94.7	94.8	95.2	(97.3)
運輸・通信業	98.4	98.0	97.5	96.1	96.1	96.2	(98.1)
卸売・小売業, 飲食店	101.3	101.0	100.2	100.4	100.7	99.8	(100.5)
金融・保険業	123.9	116.0	113.6	115.1	114.7	115.6	(119.1)
サービス業	101.0	103.0	103.5	103.9	103.6	103.9	(98.1)

図4 ラスパイレス賃金産業間格差指数
(産業計=100) 2001年



(2) 規模間格差

2001年の規模間のラスパイレ賃金格差指数は、産業計で1,000人以上を100.0として、100～999人は91.6、10～99人は88.5となっている(表5、図5)。

2000年と比べると100～999人で0.5ポイント、10～99人で1.1ポイントそれぞれ低下した。規模間格差は、95年以降拡大する傾向にある。

表5 ラスパイレ賃金企業規模間格差指数表(各年6月)
(1,000人以上=100)

企業規模	1990年	1995	1998	1999	2000	2001	
						ラスパイレ賃金格差	通常の格差
産業計							
1,000人以上	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	(100.0)
100～999人	90.3	92.7	92.8	92.4	92.1	91.6	(81.5)
10～99人	88.5	91.1	90.3	89.8	89.6	88.5	(74.2)
製造業							
1,000人以上	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	(100.0)
100～999人	92.2	93.2	93.0	90.9	90.5	90.2	(78.7)
10～99人	91.4	92.0	90.3	89.5	88.3	87.1	(70.5)

図5 ラスパイレ賃金企業規模間格差指数
(1000人以上 = 100) 2001年

